

第6次留寿都村総合計画等の策定に伴う
アンケート調査結果報告書

令和2年1月

留寿都村

目 次

I. アンケート調査の概要

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象及び調査方法	1
(3) 回収結果	2
2. 本報告書の留意事項	2
(1) 本報告書の数字の取り扱いについて	2

II. 職員アンケート調査の結果

1. 回答者の属性	5
(1) 性別	5
(2) 年齢	5
2. 調査の結果	6
1. 村の魅力と不十分なところについて	6
(1) 村の魅力	6
(2) 村の不十分なところ	8
2. 村の現状と今後の取り組みについて	10
(1) 村の各環境に関する満足度	10
(2) 村の各環境に関する重要度	13
(3) 満足度と重要度の相関（優先度）	15
(4) 今後の村づくりの特色	18
3. 参画・協働の村づくりについて	20
(1) 住民参画・協働の村づくりを進めるために必要なこと	20

I. アンケート調査の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、第6次留寿都村総合計画（2021年度～2030年度）の策定にあたって、村への愛着度や村の魅力、村の不足しているところをはじめ、一般住民、青少年、小・中・高校生、在住外国人及び村職員の意識やニーズの動向を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

	職員 アンケート調査
調査対象	本村の職員
配布数	59
抽出法	採用後1年以上経験を有する職員
調査方法	郵送法
調査時期	平成31年4月

(3) 回収結果

	職員 アンケート調査
有効回収数	42
有効回収率	71.2%

2. 本報告書の留意事項

(1) 本報告書の数字の取り扱いについて

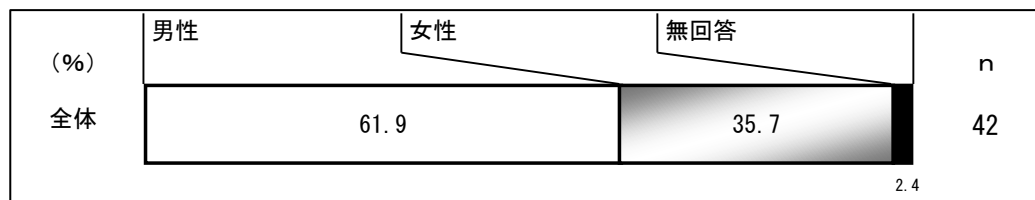
- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 設問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ④ 一般住民アンケート調査結果の問2以降の年齢別の分析について、10代の回答者数が少ない(5人)ため、20代とあわせて「10・20代」として分析しています。

Ⅱ．職員アンケート調査の結果

1. 回答者の属性

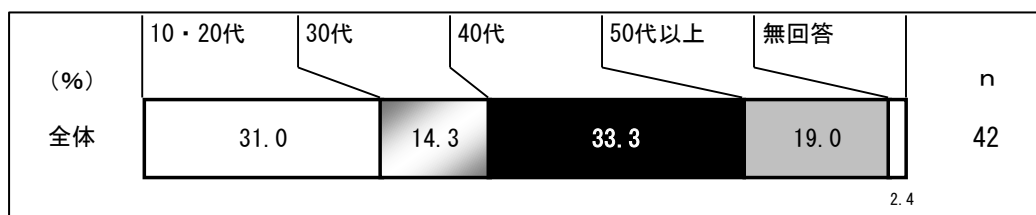
(1) 性別

回答者の性別構成は、「男性」が61.9%、「女性」が35.7%となっています。



(2) 年齢

回答者の年齢構成は、「40代」(33.3%)、「10・20代」(31.0%)、「50代以上」(19.0%)、「30代」(14.3%)の順となっています。



2. 調査の結果

1. 村の魅力と不十分なところについて

(1) 村の魅力

問2 あなたは、留寿都村の魅力はどのようなところだと思いますか。【複数回答】

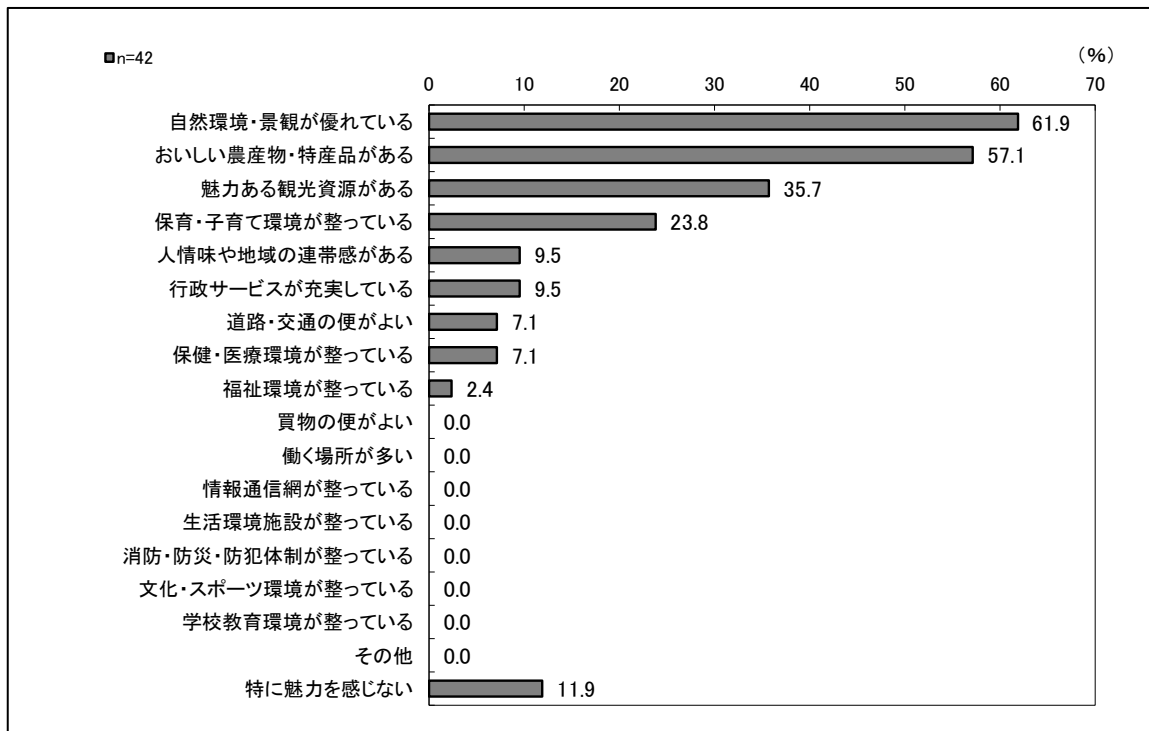
- 「自然環境・景観が優れている」が第1位。続いて「おいしい農産物・特産品がある」、「魅力ある観光資源がある」の順。

村の魅力についてたずねたところ、「自然環境・景観が優れている」(61.9%)が第1位、「おいしい農産物・特産品がある」(57.1%)が2位、続いて「魅力ある観光資源がある」(35.7%)が第3位、「保育・子育て環境が整っている」(23.8%)が第4位となっています。以下、「人情味や地域の連帯感がある」・「行政サービスが充実している」(同率9.5%)、「道路・交通の便がよい」・「保健・医療環境が整っている」(同率7.1%)、「福祉環境が整っている」(2.4%)などの順となっています。

【比較】

一般住民アンケート 「自然環境・景観が優れている」、「おいしい農産物・特産品がある」、「生活環境施設が整っている」、「人情味や地域の連帯感がある」の順。

図表VII-1 村の魅力（全体／複数回答）



図表VII-2 村の魅力（全体・性別・年齢—上位第3位／複数回答）

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		自然環境・景観が優れている 61.9	おいしい農産物・特産品がある 57.1	魅力ある観光資源がある 35.7
性別	男性	おいしい農産物・特産品がある／自然環境・景観が優れている 61.5	魅力ある観光資源がある 50.0	
	女性	自然環境・景観が優れている 66.7	おいしい農産物・特産品がある 46.7	保育・子育て環境が整っている 33.3
年齢	10・20代	自然環境・景観が優れている 69.2	おいしい農産物・特産品がある 53.8	魅力ある観光資源がある 38.5
	30代	おいしい農産物・特産品がある 66.7	行政サービスが充実している／魅力ある観光資源がある／自然環境・景観が優れている 33.3	
	40代	自然環境・景観が優れている 78.6	おいしい農産物・特産品がある 64.3	魅力ある観光資源がある 42.9
	50代以上	自然環境・景観が優れている／保育・子育て環境が整っている 50.0	おいしい農産物・特産品がある 37.5	

(2) 村の不十分なところ

問3 あなたは、留寿都村の不十分なところはどのようなところだと思いますか。【複数回答】



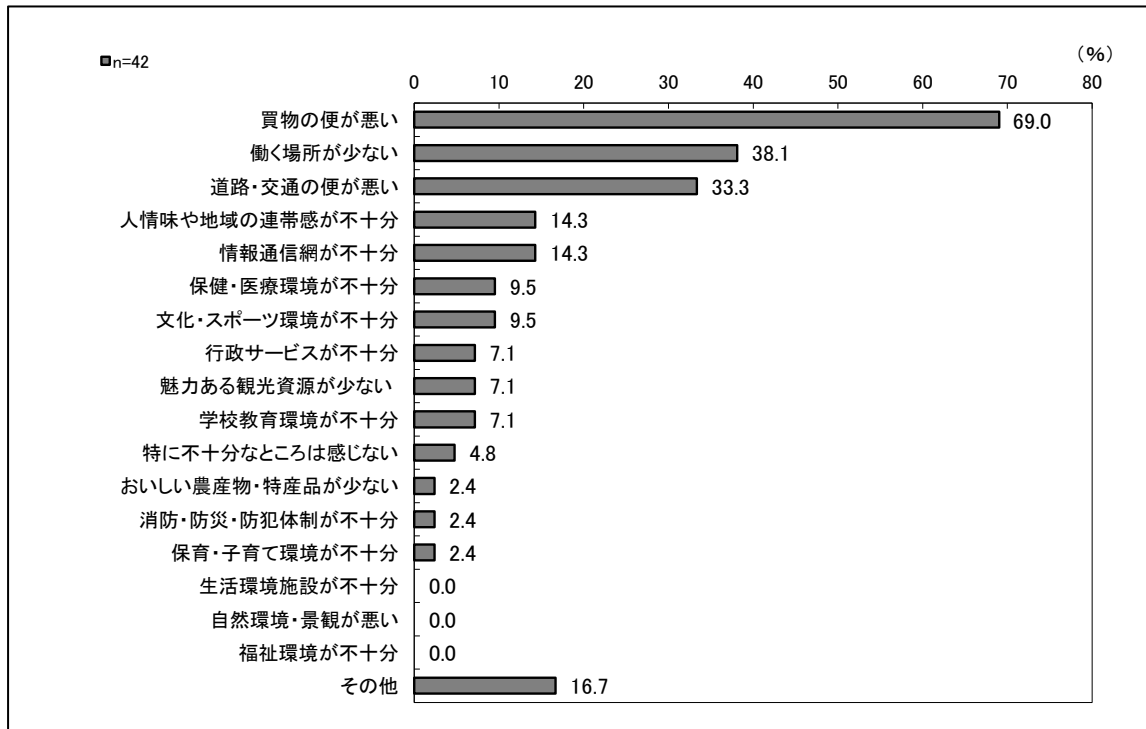
- 「買物の便が悪い」が第1位。次いで「働く場所が少ない」、「道路・交通の便が悪い」、「人情味や地域の連帯感が不十分」・「情報通信網が不十分」の順。

村の不十分なところについてたずねたところ、「買物の便が悪い」(69.0%)が第1位、続いて「働く場所が少ない」(38.1%)が第2位、「道路・交通の便が悪い」(33.3%)が第3位、「人情味や地域の連帯感が不十分」・「情報通信網が不十分」(同率14.3%)の2項目がともに第4位となっています。以下、「保健・医療環境が不十分」・「文化・スポーツ環境が不十分」(同率9.5%)、「行政サービスが不十分」・「魅力ある観光資源が少ない」・「学校教育環境が不十分」(同率7.1%)などの順となっています。

【比較】

一般住民アンケート 「買い物の便が悪い」、「働く場所が少ない」「道路・交通の便が悪い」、
「行政サービスが不十分」、「人情味や地域の連帯感が不十分」の順。

図表VII-3 村の不十分なところ（全体／複数回答）



図表VII-4 村の不十分なところ（全体・性別・年齢—上位第3位／複数回答）

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		買物の便が悪い 69.0	働く場所が少ない 38.1	道路・交通の便が悪い 33.3
性別	男性	買物の便が悪い 69.2	道路・交通の便が悪い 30.8	働く場所が少ない 26.9
	女性	買物の便が悪い 66.7	働く場所が少ない 53.3	道路・交通の便が悪い 33.3
年齢	10・20代	買物の便が悪い 69.2	道路・交通の便が悪い 30.8	保健・医療環境が不十分 23.1
	30代	買物の便が悪い 33.3	人情味や地域の連帯感が不十分／働く場所が少ない／ 情報通信網が不十分／保健・医療環境が不十分／文化・ スポーツ環境が不十分 16.7	
	40代	買物の便が悪い 64.3	働く場所が少ない 57.1	道路・交通の便が悪い 42.9
	50代以上	買物の便が悪い 100.0	働く場所が少ない 50.0	道路・交通の便が悪い 37.5

2. 村の現状と今後の取り組みについて

(1) 村の各環境に関する満足度

問4 留寿都村の以下の項目についての現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。
一住民になったつもりでお答えください。

(1) あなたは、以下の項目について、現在どの程度満足していますか。

- 満足度が最も高い項目は「水道の整備状況」。次いで「下水道の整備状況」、「し尿処理の状況」の順。
- 満足度が最も低い項目は「住宅施策の状況」。次いで「商業振興の状況」、「路線バスの状況」の順。

村の環境に関する満足度について、現在どの程度満足しているかを把握するため、第5次留寿都村総合計画に基づき、協働・共生・行財政分野、産業分野、生活基盤分野、生活環境分野、保健・医療・福祉分野、教育・文化分野、の6分野49項目を設定し、項目ごとに「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の5段階で評価してもらい、加重平均値による数量化〔後述参照〕で評価点（満足度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

その結果、満足度が最も高い項目は「水道の整備状況」（5.24点）となっており、次いで第2位が「下水道の整備状況」（5.12点）、第3位が「し尿処理の状況」（3.81点）、第4位が「保健サービス提供体制」（3.57点）、第5位が「ごみ処理・リサイクル等の状況」（3.45点）、以下、「子育て支援体制」（2.98点）、「景観の状況」（2.62点）、「交通安全体制」・「高齢者支援体制」（同点2.38点）、「緑化の推進状況」（2.14点）などの順となっています。

一方、満足度が最も低い項目は「住宅施策の状況」（-3.45点）となっており、次いで第2位が「商業振興の状況」（-3.21点）、第3位が「路線バスの状況」（-2.98点）、第4位が「移住促進対策の状況」（-2.62点）、第5位が「工業振興の状況」（-2.38点）、以下、「雇用対策の状況」（-2.20点）、「土地利用の状況」（-2.14点）、「行財政改革の状況」（-1.79点）、「情報環境」（-1.19点）、「火葬場・墓地の整備状況」（-1.07点）などの順となっています。

全体的にみると、村単独で行っている上下水道の整備をはじめとする生活環境分野全般と広報・広聴活動、消防・救急の満足度が高く、商業環境をはじめとする産業分野全般と住宅施策などの生活基盤分野の満足度が低くなっています。

また、49項目のうち、満足度がプラス評価の項目が29項目、マイナス評価の項目が17項目、中間点が3項目となっています。

※加重平均値による評価点（満足度）の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満である」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足している」、「どちらか} \\ \text{といえば満足している」、「ど} \\ \text{ちらともいえない」、「どちら} \\ \text{かといえば不満である」、「不} \\ \text{満である」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

【比較】

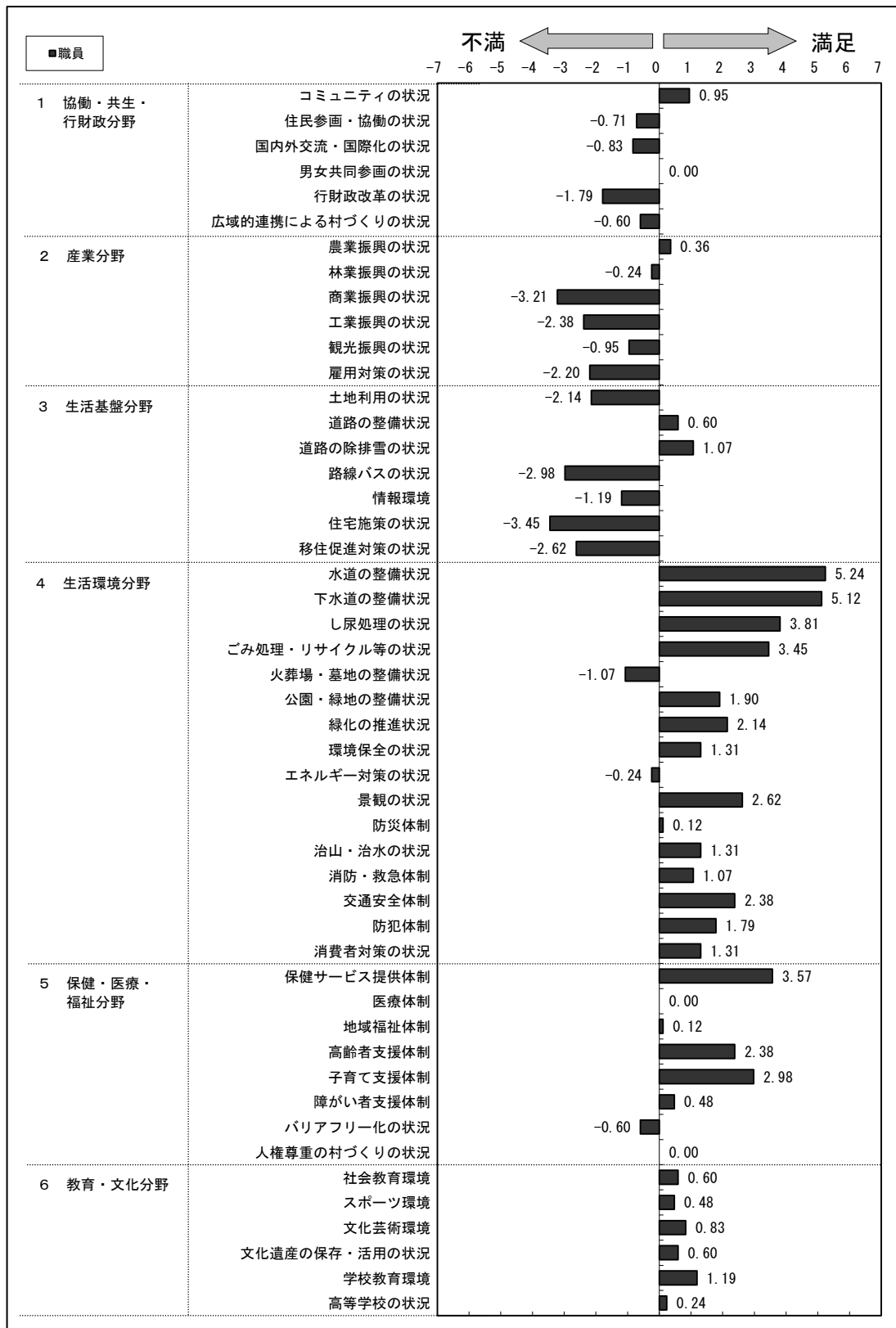
一般住民アンケート

● 満足度が高い項目：「水道の整備状況」、「下水道の整備状況」、
「し尿処理の状況」の順。

● 満足度が低い項目：「商業振興の状況」、「路線バスの状況」、「雇
用対策の状況」の順。

図表VII-5 村の現状に関する満足度（全体）

（単位：評価点）



(2) 村の各環境に関する重要度

問4 留寿都村の以下の項目についての現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。
一住民になったつもりでお答えください。
(2) あなたは、以下の項目について、今後どの程度重視していますか。

- 重要度が最も高い項目は「道路の除排雪の状況」。次いで「子育て支援体制」、「医療体制」、「観光振興の状況」、「住宅施策の状況」の順。

村の各環境について、今後どの程度重視しているかを把握するため、満足度と同じ6分野49項目について、「重視している」、「やや重視している」、「どちらともいえない」、「あまり重視していない」、「重視していない」の5段階で評価してもらい、加重平均値による数量化【後述参照】で評価点（重要度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

その結果、重要度が最も高い項目は「道路の除排雪の状況」（6.07点）となっており、次いで第2位が「子育て支援体制」（5.85点）、第3位が「医療体制」（5.49点）、第4位が「観光振興の状況」（5.37点）、第5位が「住宅施策の状況」（5.36点）、以下、「商業振興の状況」・「農業振興の状況」（同率4.88点）、「保健サービス提供体制」（4.63点）、「水道の整備状況」（4.52点）、「道路の整備状況」（4.29点）などの順となっています。

これら上位10項目をみると、「水道の整備状況」以外では、「産業分野」、「生活基盤分野」、「保険・医療・福祉分野」から、それぞれ3項目ずつとなっており、これまでの設問結果においてもニーズが高い医療をはじめ、快適で安全・安心、便利な生活基盤・生活環境づくりが重視されていることがうかがえます。

【比較】

一般住民アンケート ● 重要度が高い項目：「医療体制」、「道路の除排雪の状況」、「水道の整備状況」、「保健サービス提供体制」、「下水道の整備状況」の順。

※加重平均値による評価点（重要度）の算出方法

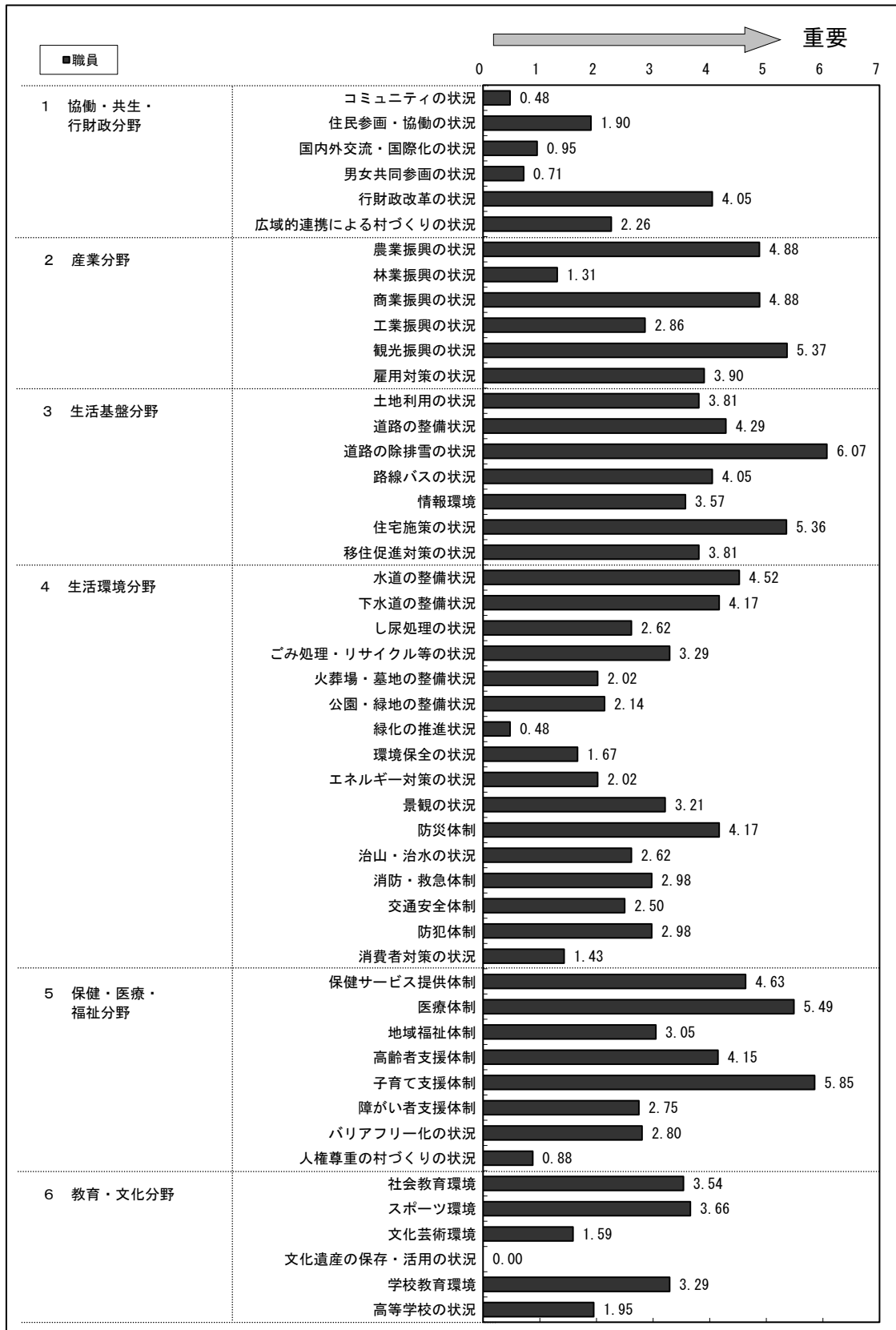
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「重視している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや重視している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「あまり重視していない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重視していない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「重視している」、「やや重視している」、} \\ \text{「どちらともいえない」、「あまり重視していない」、} \\ \text{「重視していない」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(重要度)は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

図表VII-6 村の環境に関する重要度（全体）

（単位：評価点）



(3) 満足度と重要度の相関（優先度）

- 満足度と重要度の相関からみた優先度が最も高い項目は「住宅施策の状況」。次いで「商業振興の状況」、「路線バスの状況」、「観光振興の状況」の順。

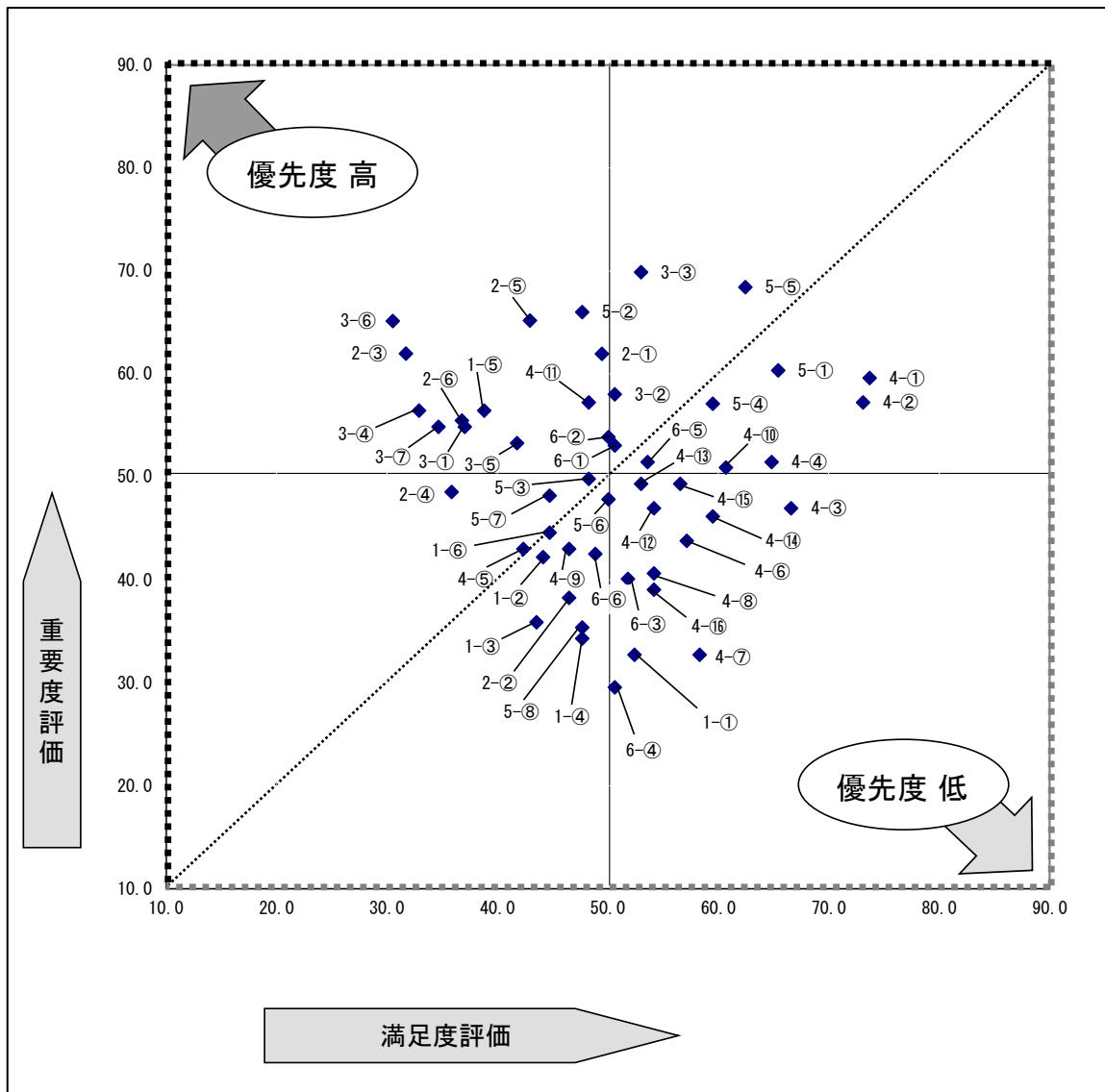
これまでみてきた満足度と重要度の分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施策項目を抽出するための一つの試みとして、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなります。この散布図による数量化【後述参照】で優先度（評価点：最高点 42.43 点、中間点 0 点、最低点 -42.43 点）を算出しました。

この結果をみると、優先度は、「住宅施策の状況」（22.68 点）が第 1 位で、次いで「商業振興の状況」（18.97 点）、「路線バスの状況」（13.31 点）、「観光振興の状況」（12.99 点）、「移住促進対策の状況」（11.16 点）、「行財政改革の状況」（10.73 点）、「雇用対策の状況」（10.71 点）、「土地利用の状況」（10.06 点）、「医療体制」（9.55 点）、「道路の除排雪の状況」（8.12 点）などの順となっています。

【比較】

- 一般住民アンケート ● 優先度が高い項目：「路線バスの状況」、「雇用対策の状況」、「商業振興の状況」、「道路の除排雪の状況」の順。

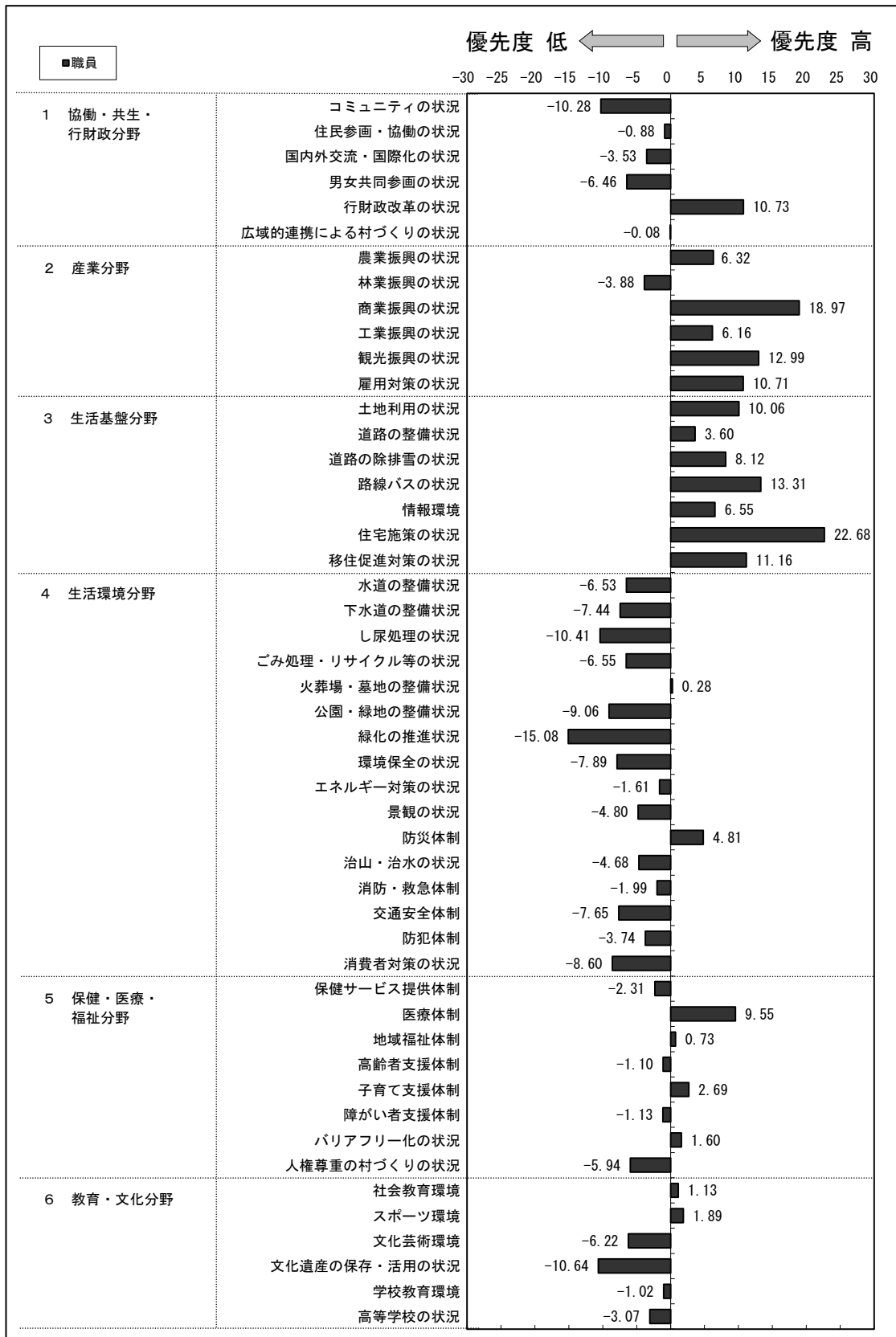
図表Ⅶ-7 満足度と重要度の相関（全体／優先度）



優先度高い		優先度低い	
3-6 住宅施策の状況	5-5 子育て支援体制	4-7 緑化の推進状況	4-10 景観の状況
2-3 商業振興の状況	6-2 スポーツ環境	6-4 文化遺産の保存・活用の状況	4-12 治山・治水の状況
3-4 路線バスの状況	5-7 バリアフリー化の状況	4-3 尿処理の状況	2-2 林業振興の状況
2-5 観光振興の状況	6-1 社会教育環境	1-1 コミュニティの状況	4-15 防犯体制
3-7 移住促進対策の状況	5-3 地域福祉体制	4-6 公園・緑地の整備状況	1-3 国内外交流・国際化の状況
1-5 行財政改革の状況	4-5 火葬場・墓地の整備状況	4-16 消費者対策の状況	6-6 高等学校の状況
2-6 雇用対策の状況		4-8 環境保全の状況	5-1 保健サービス提供体制
3-1 土地利用の状況		4-14 交通安全体制	4-13 消防・救急体制
5-2 医療体制		4-2 下水道の整備状況	4-9 エネルギー対策の状況
3-3 道路の除排雪の状況		4-4 ごみ処理・リサイクル等の状況	5-6 障がい者支援体制
3-5 情報環境		4-1 水道の整備状況	5-4 高齢者支援体制
2-1 農業振興の状況		1-4 男女共同参画の状況	6-5 学校教育環境
2-4 工業振興の状況		6-3 文化芸術環境	1-2 住民参画・協働の状況
4-11 防災体制		5-8 人権尊重の村づくりの状況	1-6 広域的連携による村づくりの状況
3-2 道路の整備状況			

図表VII-8 満足度と重要度の相関（全体／優先度）

（単位：評価点）



(4) 今後の村づくりの特色

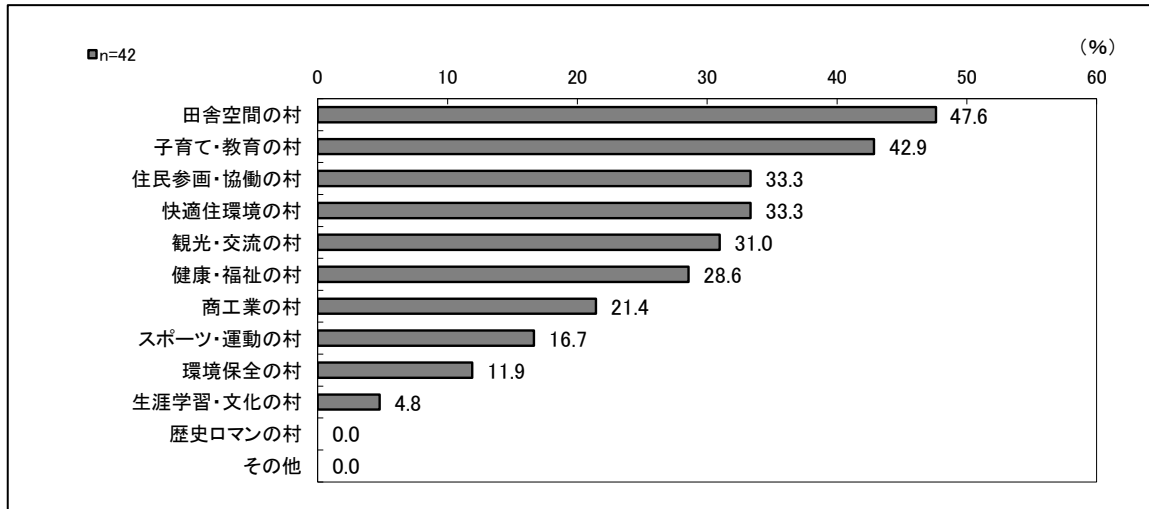
問5 あなたは、今後、留寿都村をどのような特色のある村にすべきだと思いますか。
【複数回答】



- 「田舎空間の村」が第1位。次いで「子育て・教育の村」、「住民参画・協働の村」、「快適住環境の村」の順。

今後どのような特色のある村にすべきかについては、「田舎空間の村」(47.6%)が第1位、「子育て・教育の村」(42.9%)が第2位、「住民参画・協働の村」と「快適住環境の村」(同率 33.3%)の2項目がともに第3位、「観光・交流の村」(31.0%)が第5位となっています。以下、「健康・福祉の村」(28.6%)、「商工業の村」(21.4%)、「スポーツ・運動の村」(16.7%)、「環境保全の村」(11.9%)などの順となっています。

図表VII-9 今後の村づくりの特色（全体／複数回答）



図表VII-10 今後の村づくりの特色（全体・性別・年齢－上位第3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		田舎空間の村 47.6	子育て・教育の村 42.9	住民参画・協働の村／ 快適住環境の村 33.3
性別	男性	田舎空間の村 46.2	子育て・教育の村 42.3	住民参画・協働の村 34.6
	女性	田舎空間の村／健康・福祉の村／子育て・教育の村 46.7		
年齢	10・20代	田舎空間の村 53.8	子育て・教育の村 46.2	住民参画・協働の村 38.5
	30代	快適住環境の村／子育て・教育の村 50.0		住民参画・協働の村 33.3
	40代	田舎空間の村 57.1	観光・交流の村 42.9	快適住環境の村 35.7
	50代以上	住民参画・協働の村／子育て・教育の村 62.5		健康・福祉の村 50.0

3. 参画・協働の村づくりについて

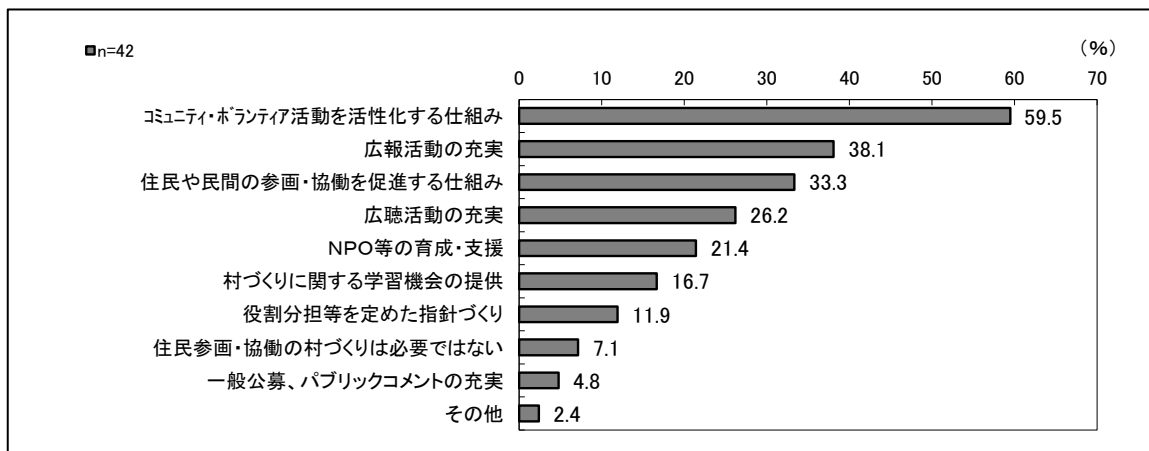
(1) 住民参画・協働の村づくりを進めるために必要なこと

問6 あなたは、「住民参画・協働の村づくり」を進めるために行政として必要なことはなんだと思いますか。【複数回答】

- 「コミュニティ・ボランティア活動を活性化する仕組み」が第1位。次いで、「広報活動の充実」、「住民や民間の参画・協働を促進する仕組み」の順。

住民参画・協働の村づくりを進めるために必要なことについては「コミュニティ・ボランティア活動を活性化する仕組み」(59.5%)が他を引き離して第1位にあげられ、次いで「広報活動の充実」(38.1%)が第2位、「住民や民間の参画・協働を促進する仕組み」(33.3%)が第3位、「広聴活動の充実」(26.2%)が第4位となっています。以下、「NPO等の育成・支援」(21.4%)、「村づくりに関する学習機会の提供」(16.7%)、「役割分担等を定めた指針づくり」(11.9%)などの順となっています。なお、「住民参画・協働の村づくりは必要ではない」は7.1%となっています。

図表VII-11 住民参画・協働の村づくりを進めるために必要なこと（全体／複数回答）



図表VII-12 住民参画・協働の村づくりを進めるために必要なこと
 (全体・性別・年齢—上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		コミュニティ・ボランティア活動を活性化する仕組み 59.5	広報活動の充実 38.1	住民や民間の参画・協働を促進する仕組み 33.3
性別	男性	コミュニティ・ボランティア活動を活性化する仕組み 53.8	住民や民間の参画・協働を促進する仕組み 34.6	広報活動の充実 30.8
	女性	コミュニティ・ボランティア活動を活性化する仕組み 73.3	広報活動の充実 53.3	住民や民間の参画・協働を促進する仕組み 33.3
年齢	10・20代	広聴活動の充実 61.5	広報活動の充実 53.8	コミュニティ・ボランティア活動を活性化する仕組み 46.2
	30代	コミュニティ・ボランティア活動を活性化する仕組み／住民や民間の参画・協働を促進する仕組み 33.3	広報活動の充実／役割分担等を定めた指針づくり／NPO等の育成・支援 16.7	
	40代	コミュニティ・ボランティア活動を活性化する仕組み 71.4	住民や民間の参画・協働を促進する仕組み 35.7	広報活動の充実／NPO等の育成・支援 28.6
	50代以上	コミュニティ・ボランティア活動を活性化する仕組み 87.5	広報活動の充実／住民や民間の参画・協働を促進する仕組み 50.0	